

平成 30 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 デ イ ト ナ
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 織 田 哲 司
 (証 券 コー ド 7228、東 証 JASDAQ)
 問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 杉 村 靖 彦
 (TEL 0538-84-2200)

第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 14 日付当社「平成 29 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました平成 30 年 12 月期(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)の第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異について下記のとおりお知らせします。

記

(連結)

平成 30 年 12 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値と実績との差異(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回予想 (A)	3,791	163	169	105	円 銭 44.80
今回実績 (B)	3,958	262	248	164	70.34
増減額 (B-A)	166	98	79	59	
増 減 率	4.4%	60.2%	46.7%	57.0%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 12 月期第 2 四半期)	2,894	187	195	136	64.86

(差異の理由)

㈱デイトナ単体及び連結子会社共に売上高が当初予想を上回った事による利益の増加に加え、為替が想定より円高傾向で安定推移したため、㈱デイトナ及び㈱ダートフリークの海外仕入れ商品の利益率が上振れました。また小売業を展開する㈱ライダーズ・サポート・カンパニーにおいても、売上高の上振れと経費削減により予想より利益が上振れました。この結果、連結売上高は、若干の上振れはあるもののほぼ想定通りとなり、各利益については大きく上振れすることとなりました。なお、通期業績予想については、現段階で不確定要素もある事から、平成 30 年 2 月 14 日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取りまく経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績が現状の見通しと大きく異なる可能性があることを御承知おきください。

以 上